

第七十六回一宮市芸術祭参加

第66回 一宮支部展

支部次長 村田光 終

▼会期 令和三年十一月二十七日(土)～二十八日(日)

▼会場 一宮スポーツ文化センター



昨年度は、コロナ禍中で見送られた支部展。本年度も落ち着かない社会情勢ではありましたが、開催の運びとなりました。

一六六名の支部先生方の御出品と共に、本部からは、理事長の伊藤仙游先生、副理事長の岡野楠亭先生、同加藤裕先生、同松下英風先生の賛助出品を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

フューチャーズにおきましても、三団体、個人二名の御出品。コロナ禍中乍、青年の覇気ある作品に感動。又それに伴う御指導の先生方の変わらぬ御貢献に心より感謝申し上げます。

今回の搬入搬出作業は、感染拡大防止を踏まえ、一宮書道協会理事以上の先生方のみで執り行なう事となりました。縮小人数での作業は初めて故、過度な労力の御負担の懸念もございましたが、事故も無く無事に終了出来ました時は、本当に良かったと、皆様への感謝と共に安堵致しました。

未だ先が見え隠れの情勢ですが、今年十月には、書道が「登録無形文化財」として登録され、そして日本書道文化協会が保護団体に認定されることとなり、日本の文化財保護法上の措置がなされました。生活文化における歴史的な意義と共に芸術的な価値が高いと評価されたとのことで、誠に喜ばしいニュースです。

これを切っ掛けに、歴史ある書道芸術が、更なる我が地域文化の発展向上と書道愛好者の希望の糧となることを願うばかりです。

会期中に新企画として行なわれておりましたギャラリートークも、やむを得ず中断しておりますが、又状況判断にて再開させて頂き、相談役先生方の貴重なお話しに恵まれたらと思っております。

末筆ではございますが、各先生方のご健勝を心から祈りつつ、第六十七回展も多数の御出品、並びに御尽力御協力賜りますようお願い申し上げます。